

# 2021年5月 イーアイデム会員対象アンケート結果

## TOPICS

仕事をするうえで不快な気持ちになる事柄  
「マスクをしない、消毒をしない」が63.5%

株式会社アイデム

東日本事業本部 データリサーチチーム

## 調査名

- ▶【イーアイデム会員限定】お仕事探しに関するアンケート

## 調査目的

- ▶現在の求職者の状況を把握し、今後のサービス向上・商品開発につなげる

## 調査対象

- ▶総合求人サイト「イーアイデム」の会員で、2021/05/01～2021/05/31の期間にイーアイデムから何らかの求人に応募した人

## 調査期間

- ▶2021/05/02～2021/06/05(34日間)

## 調査方法

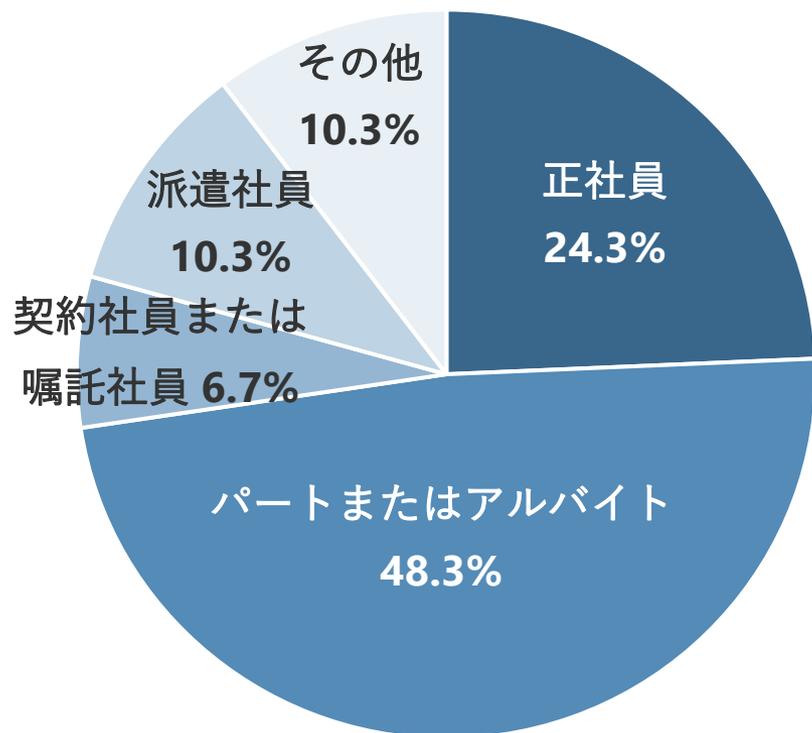
- ▶インターネットリサーチ  
(株式会社マクロミル「クエスタント」を使用)

## 有効回答数

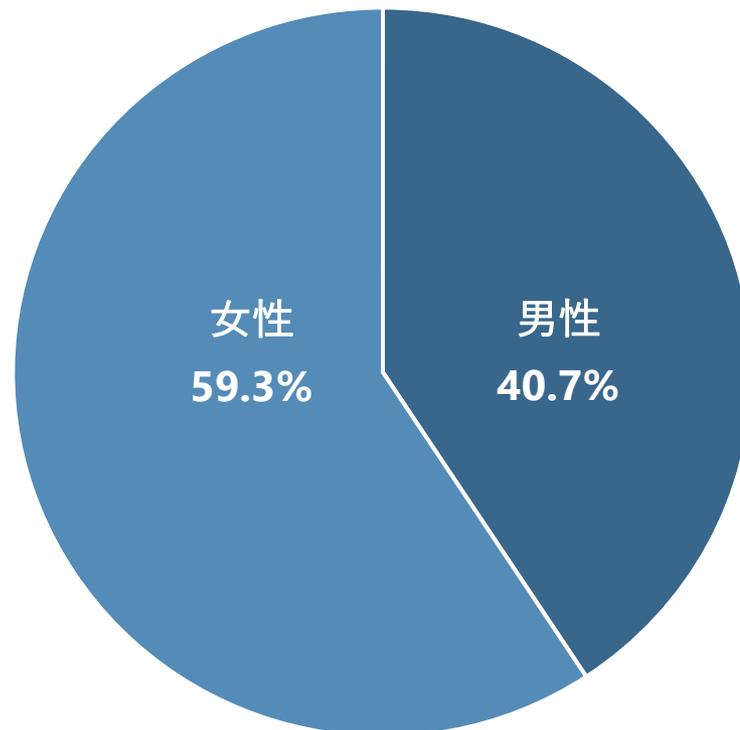
- ▶329件

※調査結果は四捨五入のために合計が100%にならない場合があります

希望する雇用形態



性別



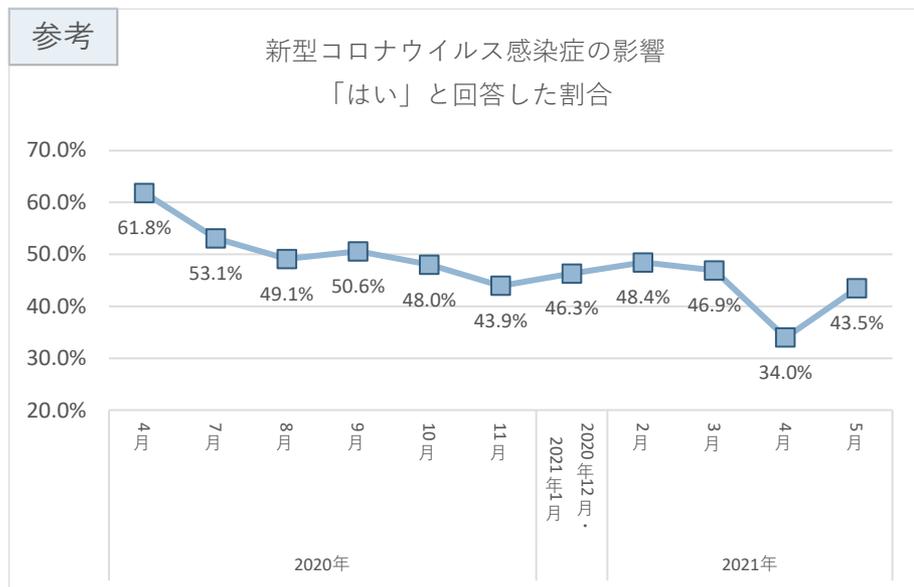
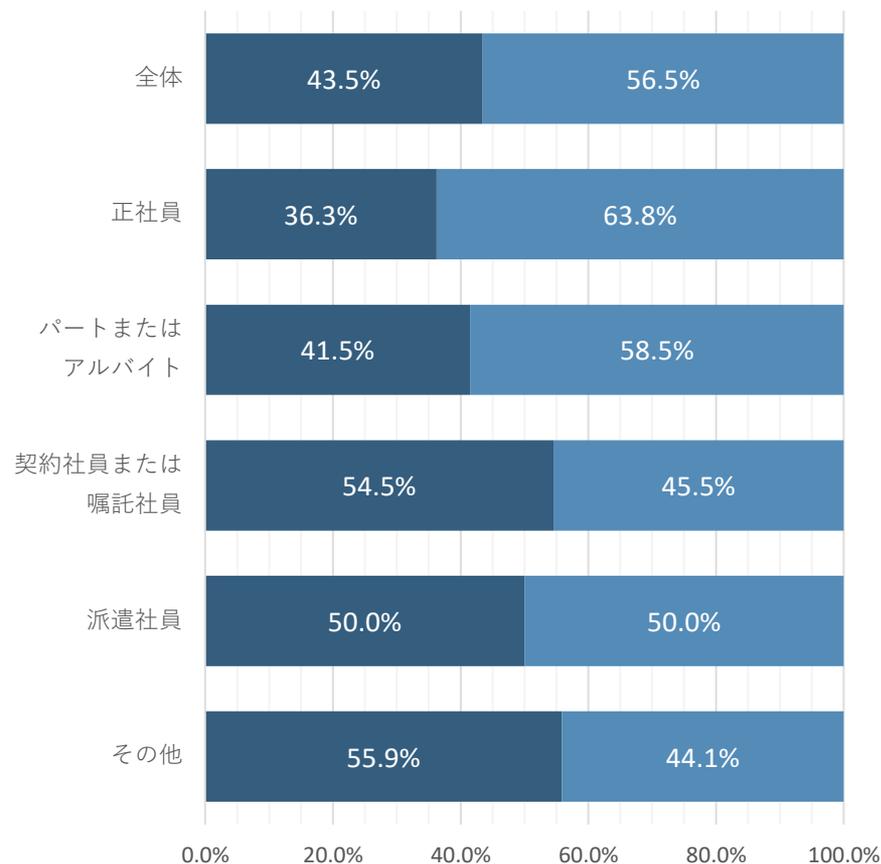
イーアイデムから求人に応募した人に、今回仕事探しをしている理由に「新型コロナウイルス感染症の影響」は関連しているかきいた。

全体で43.5%が「はい」と回答し、約4割の回答者が新型コロナウイルス感染症の影響を受けて仕事探しをしていたことがわかった。2020年5月調査時と比較すると、53.1%から9.6pt減少した。

希望雇用形態別に影響の有無をみると、「パートまたはアルバイト」では約4割となった。「その他」の回答者は希望雇用形態理由が「こだわらない」「何でもいい」をあげる人が多く、どのような形であっても働くことを希望しているようだ。

今回仕事探しをしている理由には、新型コロナウイルス感染症の影響は関連していますか。

■ はい ■ いいえ

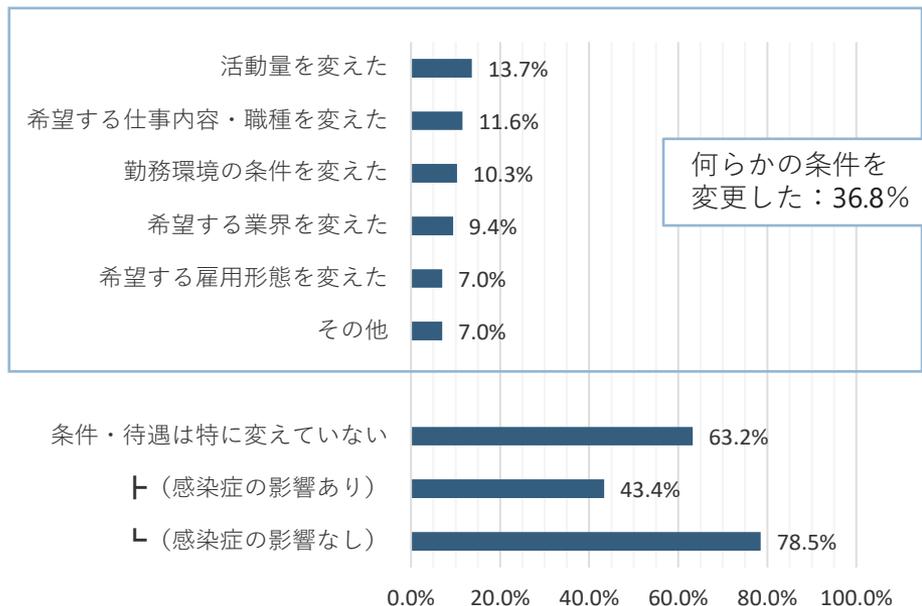


イーアイデムから求人に応募した人に、新型コロナウイルス感染症拡大の前後で仕事を選ぶ際の条件等は変わったかきいた。全体では「何らかの条件を変更した」36.8%、「条件・待遇は特に変えていない」63.2%となり、コロナ禍においても仕事探しの軸を変えない人が約6割となった。

「何らかの条件を変更した」人の状況を見ると、最も多かったのは「活動量を変えた」で13.7%、次いで「希望する仕事内容・職種を変えた」が11.6%、「勤務環境の条件を変えた」が10.3%となった。非正規雇用を希望する人の中には、ダブルワークができる職場を検討している声が多い。

「条件・待遇は特に変えていない」について、今回仕事探しをしている理由に新型コロナウイルス感染症の影響がある人となない人を比較した（P4参照）。「感染症影響あり（『はい』と回答/以下同）」の人は、「条件・待遇は特に変えていない」割合が43.4%で、「感染症影響なし（『いいえ』と回答/以下同）」（78.5%）より35.1pt低くなっており、半数以上が注目する条件・待遇を見直したと回答した。

新型コロナウイルスの感染拡大により、仕事探しの際に注目する条件や待遇は変わりましたか？（複数回答）



見直した条件

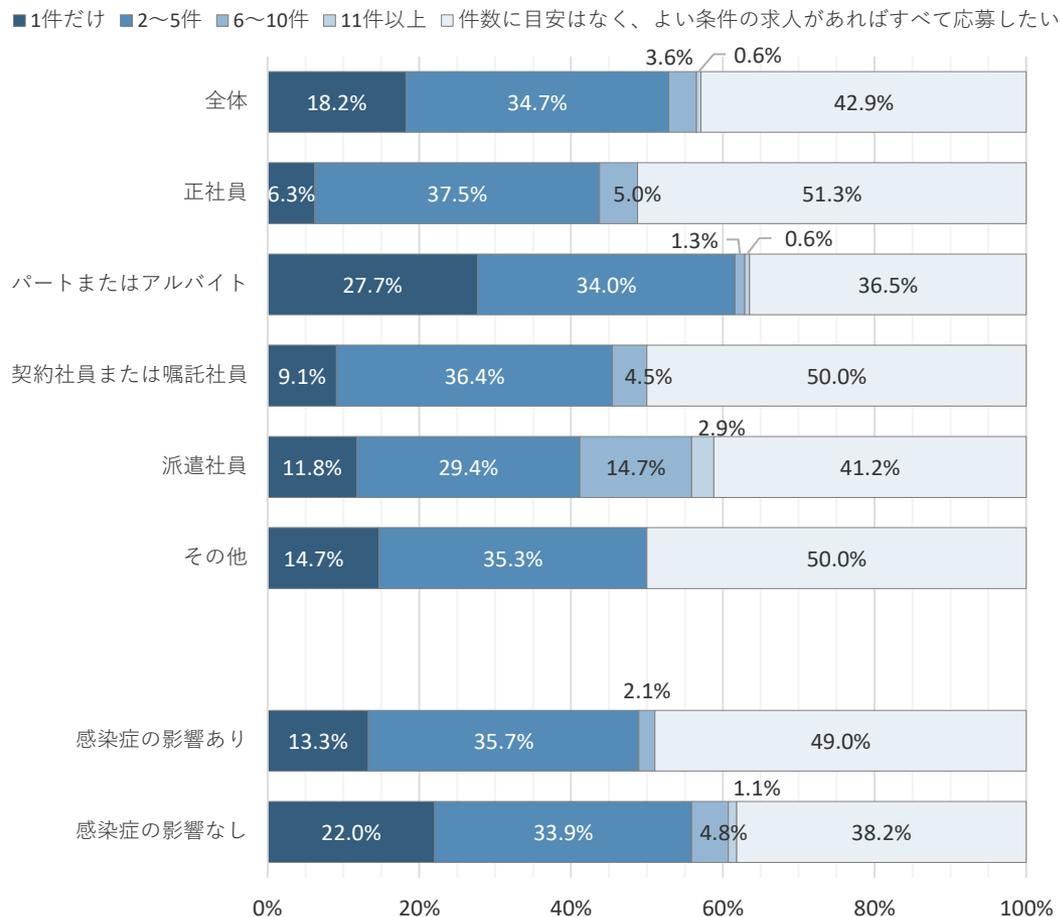
| 希望雇用形態      | 性別 | 年齢層 | 自由意見                                                               |
|-------------|----|-----|--------------------------------------------------------------------|
| パートまたはアルバイト | 女性 | 40代 | 副業OKのアルバイトやパートを探すようになった                                            |
| パートまたはアルバイト | 女性 | 40代 | なるべく自宅から近く、長い時間公共交通機関に乗らなくて済むところを希望するようになった。特に満員電車などは怖いので都会には行かない。 |
| 派遣社員        | 女性 | 50代 | ダブルワーク可能な形態を希望しています                                                |
| その他（こだわらない） | 男性 | 50代 | 正社員だけでなく、正社員登用ありに広げて検討しています。                                       |
| 派遣社員        | 女性 | 50代 | 求人が少ない上に仕事を探している人が多いので、先に進めなくて希望の時給を下げています                         |
| 契約社員または嘱託社員 | 女性 | 50代 | 情報量を増やすために、複数の求人サイトをみている。                                          |

イーアイデムから求人に応募した人に、今回の求職活動期間の中で、求人に応募する件数の目安があるかどうかきいた。全体では、「よい条件の求人があればすべて応募したい」が最も多く42.9%、次いで「2～5件」が34.7%、「1件だけ」が18.2%、「6～10件」が3.6%、「11件以上」が0.6%となった。「1件だけ」以外を選んだ割合は約8割となり、多くの人が複数応募を前提に活動している。

希望雇用形態別にみると、「正社員」では、「件数に目安はなく、よい条件の求人があればすべて応募したい」の割合は約半数の51.3%となった。「パートまたはアルバイト」では「1件だけ」が27.7%で、他の雇用形態希望者よりも多かった。

仕事探しにおける新型コロナウイルス感染症の影響の有無（P4参照）との関連をみると、「感染症の影響なし」と回答した人は「感染症の影響あり」と回答した人よりも「1件だけ」の応募を検討する割合が多かった。「感染症の影響あり」と回答した人の方が、「件数に目安はなく、よい条件の求人があればすべて応募したい」を選んだ割合が多かった。

今回の求職活動期間の中で、  
およそ何件ほど応募しようと思いますか。

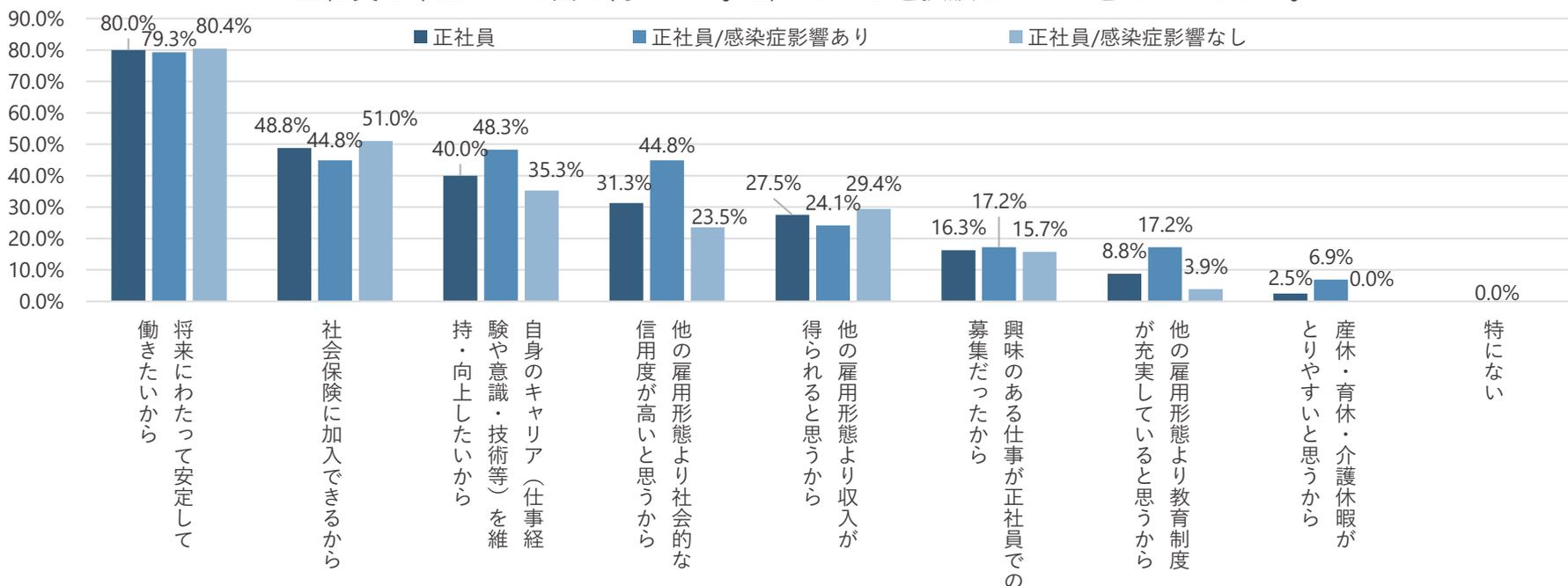


イーアイデムから求人に応募した、正社員雇用を希望する人に、なぜ正社員を希望するのかを聞いた（複数回答）。最も多かったのは「将来にわたって安定して働きたいから」で80.0%、次いで「社会保険に加入できるから」が48.8%、「自身のキャリア（仕事経験や意識・技術等）を維持・向上したいから」が40.0%となっている。

仕事探しにおける新型コロナウイルスの影響の有無（P4参照）との関連をみると、「感染症影響あり」の人は「感染症影響なし」の人より「他の雇用形態より社会的な信用度が高いと思うから」を選んだ割合が21.3pt、「他の雇用形態より教育制度が充実していると思うから」では13.3pt、「自身のキャリアを維持・向上したいから」では13.0pt高かった。雇用維持の安心のほか、今後のスキル向上等も踏まえた雇用形態の選び方を重視している。

「感染症影響なし」の人は「感染症影響あり」の人よりも「社会保険に加入できるから」を選んだ割合が6.2pt、「他の雇用形態より収入が得られると思うから」では5.3pt高かった。収入を上げるために仕事探しを進めている人が多いようだ。

正社員を希望する理由は何ですか。当てはまる選択肢をすべて選んでください。



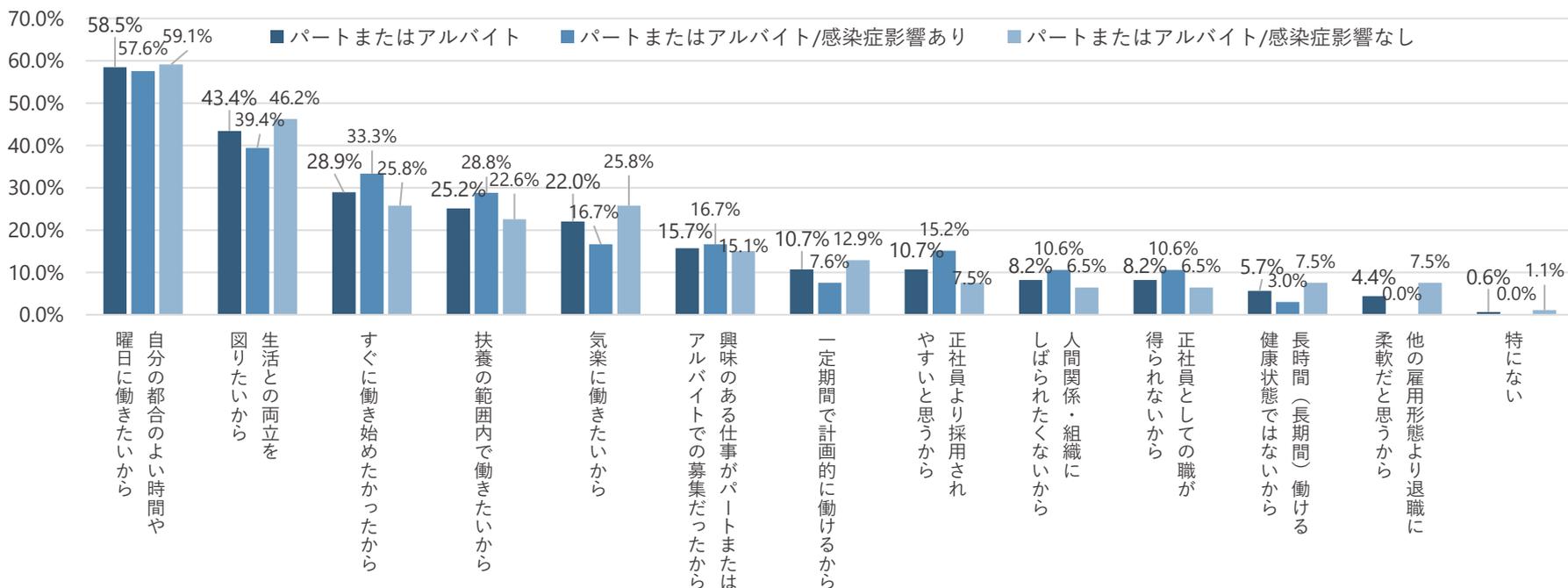
# パート・アルバイトを希望する理由

イーアイデムから求人に応募した、パートまたはアルバイトを希望する人に、なぜその雇用形態を希望するのかを聞いた（複数回答）。最も多かったのは「自分の都合の良い時間や曜日に働きたいから」で58.5%、次いで「生活との両立を図りたいから」が43.4%、「すぐに働き始めたかったから」が28.9%となった。

仕事探しにおける新型コロナウイルスの影響の有無（P4参照）について、「感染症影響あり」の人は「感染症影響なし」の人と比べて、「正社員より採用されやすいと思うから」は7.7pt、「すぐに働き始めたかったから」は7.5pt、「扶養の範囲内で働きたいから」は6.2pt高くなった。取り急ぎ職に就きたいという意向がうかがえる。

「感染症影響なし」の人は「感染症影響あり」の人よりも「気楽に働きたいから」で9.1pt、「他の雇用形態より退職に柔軟だと思われるから」で7.5pt、「生活との両立を図りたいから」で6.8pt高くなった。一時的な収入の補填を理由に仕事探しをしている場合、充足した段階で特に仕事を続ける理由が無ければ、離職するつもりでいる人が一定数いる可能性がある。

パートまたはアルバイトを希望する理由は何ですか。当てはまる選択肢をすべて選んでください。



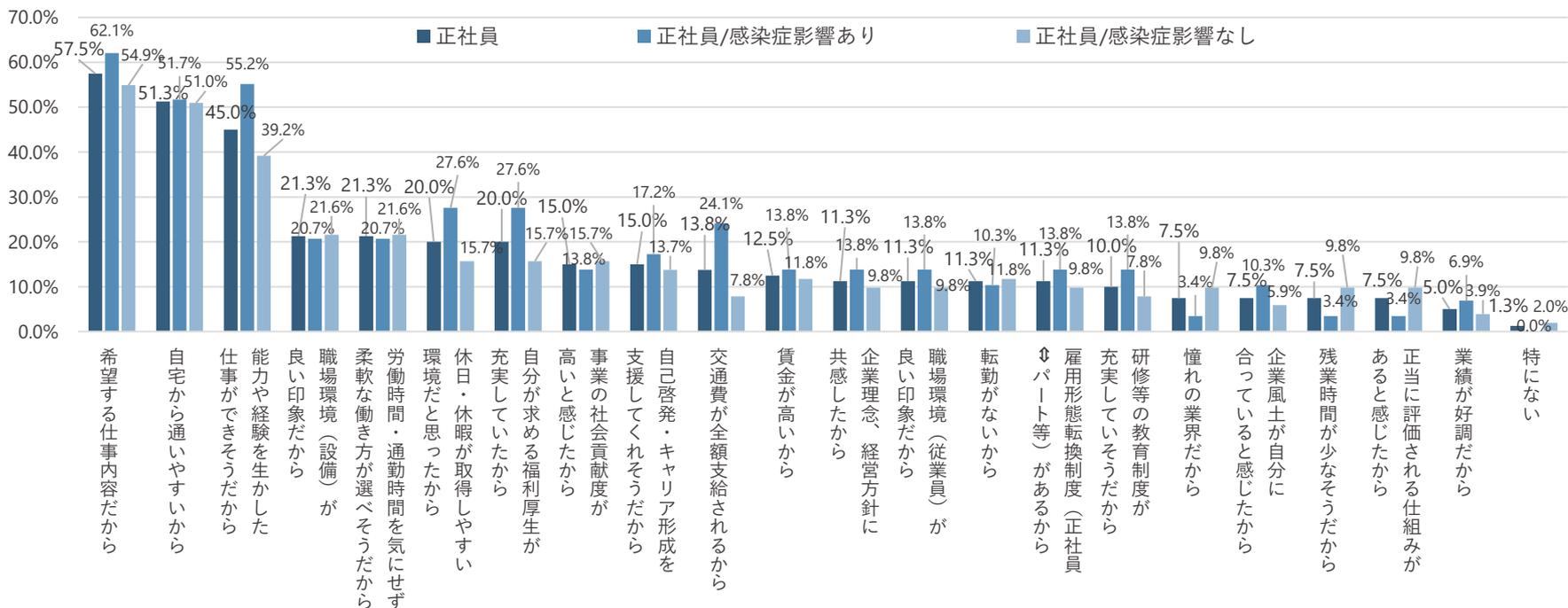
# 求人に応募した理由（正社員希望の場合）

イーアイデムから求人に応募した、正社員雇用を希望する人に、自身が応募した求人を選んだ理由をきいた（複数回答）。最も多かったのは「希望する仕事内容だから」の57.5%、次いで「自宅から通いやすいから」が51.3%、「能力や経験を生かした仕事ができそうだから」が45.0%となった。

仕事探しにおける新型コロナウイルスの影響の有無（P4参照）との関係を見ると、「感染症影響あり」の人は「感染症影響なし」の人よりも「交通費が全額支給されるから」が16.3pt、「能力や経験を生かした仕事ができそうだから」が16.0pt、「休日・休暇が取得しやすい環境だと思ったから」が11.9pt高かった。自身が持つポテンシャルを活かしつつ、しっかりと休みをとってリフレッシュできるような、メリハリのある仕事を探している人が多いのかもしれない。

「感染症影響なし」の人では、「感染症影響あり」の人よりも「憧れの業界だから」「残業時間が少なそうだから」「正當に評価される仕組みがあると感じたから」の3項目で6.4pt高かった。

その仕事内容の求人に応募した理由は何ですか。当てはまる選択肢をすべて選んでください。



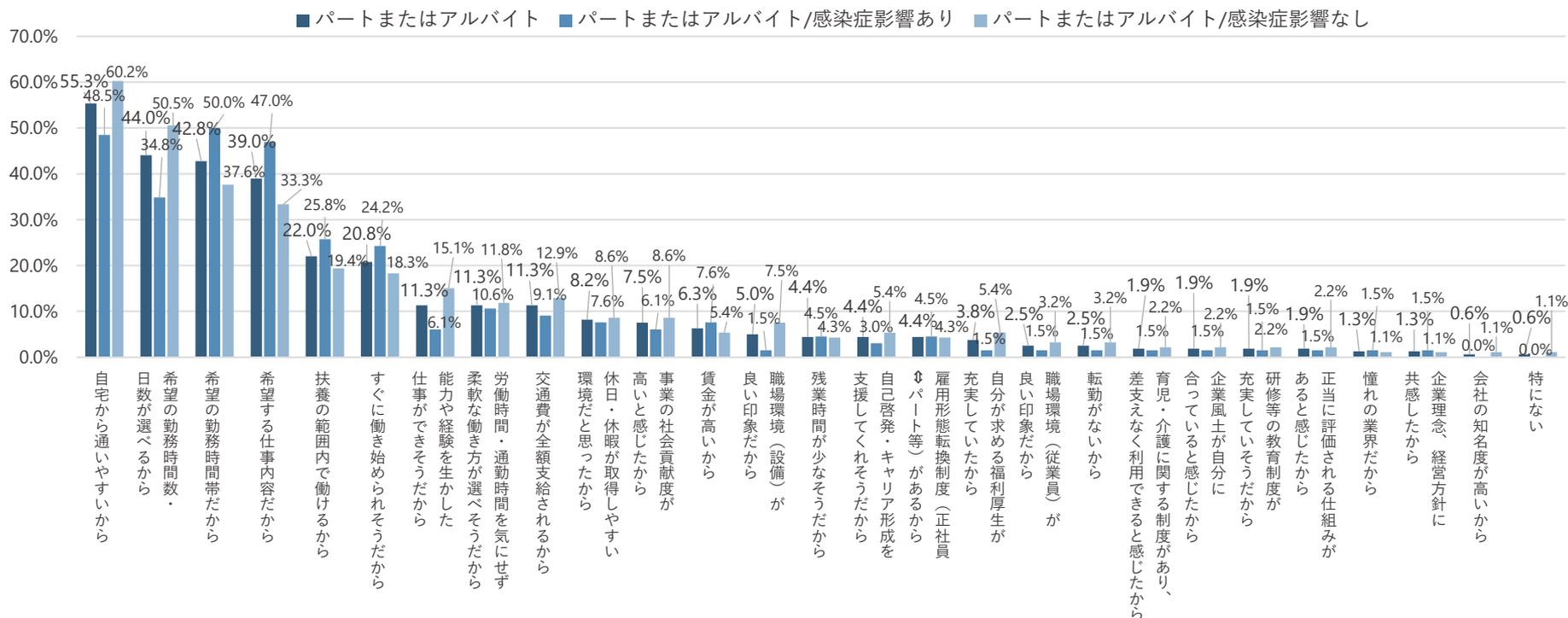
# 求人に応募した理由（パート・アルバイト希望の場合）

イーアイデムから求人に応募した、パートまたはアルバイト雇用を希望する人に、自身が応募した求人を選んだ理由をきいた（複数回答）。最も多かったのは「自宅から通いやすいから」で55.3%、次いで「希望の勤務時間数・日数が選べるから」が44.0%、「希望の勤務時間帯だから」が42.8%となった。

仕事探しにおける新型コロナウイルスの影響の有無（P4参照）について、「感染症影響あり」の人は「感染症影響なし」の人よりも「希望する仕事内容だから」が13.6pt、「希望の勤務時間帯だから」が12.4pt高くなった。「感染症影響あり」の人の中では応募理由のトップ2つがこれにあたり、仕事内容と働く時間帯を重視していることがわかる。

「感染症影響なし」の人は、「感染症影響あり」の人よりも「希望の勤務時間数・日数を選べるから」が15.7pt、「自宅から通いやすいから」が11.7pt高かった。無理のない距離で、必要な分働くことができる職場を探している傾向が強い。

その仕事内容の求人に応募した理由は何ですか。当てはまる選択肢をすべて選んでください。

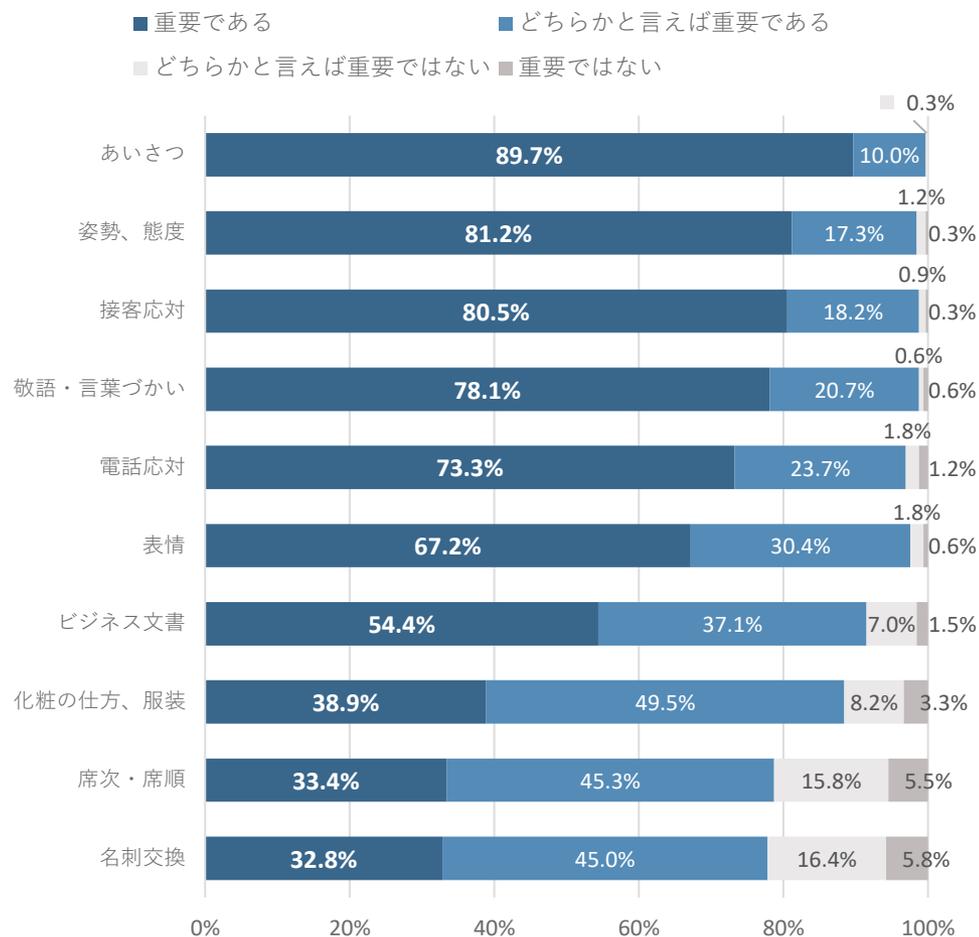


イーアイデムから求人に応募した人に、次にあげる項目はビジネスマナーとして重要かどうか聞いた。10項目あり、「敬語・言葉づかい」「あいさつ」「電話応対」「接客応対」「ビジネス文書」「姿勢、態度」「表情」「化粧の仕方、服装」「名刺交換」「席次・席順」である。「重要である」が最も多かったのは「あいさつ」の89.7%、次いで「姿勢、態度」が81.2%、「接客応対」が80.5%となった。「重要である」「どちらかと言えば重要である」を合わせるとほとんどの項目で8割以上がビジネスマナーとして重要であるとの回答が集まった。

「席次・席順」と「名刺交換」については、約6%が「重要ではない」を選択した。仕事内容や年代によっては、必要な場面に直面する機会が少ない項目でもあり、他の項目と比べると重要と考えている人は少ないようだ。業種や職種によって自由度に差がある「化粧の仕方、服装」も、「重要である」を選んだ割合は半数以下となった。

あいさつをはじめ、言葉づかいや姿勢・態度等は、日常のコミュニケーションのひとつである。直接顔を合わせたり、言葉を交わしたり、感情を読み取る手段だけではなく、相手に印象を与える行動でもあり、対人交流をするうえで欠かせない項目が、ビジネスマナーとして特に重要と考えられているようだ。

あなたは、ビジネスマナーとして次の項目は重要だと思いますか？



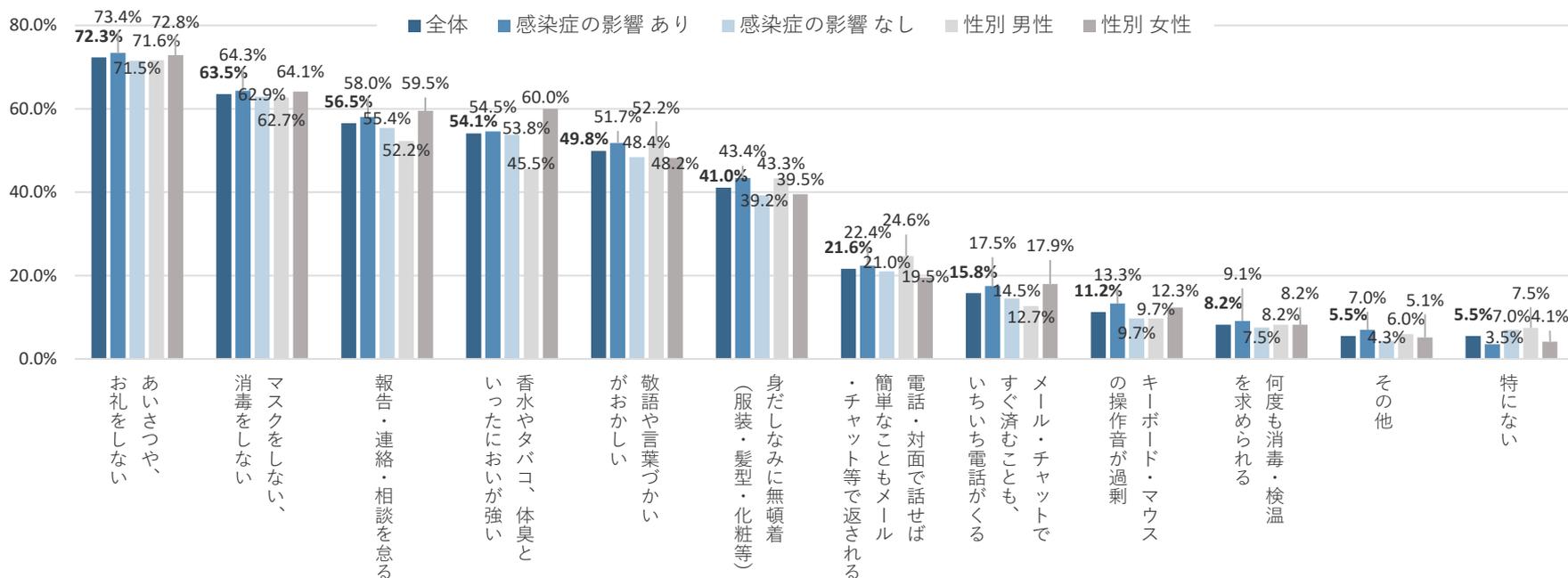
# 仕事をするうえで不快な気持ちになる事柄

イーアイデムから求人に応募した人に、仕事をするうえで不快な気持ちになる事柄をきいた（複数回答）。最も多くの方が不快になると答えたのは「あいさつや、お礼をしない」で72.3%、次いで「マスクをしない、消毒をしない」が63.5%、「報告・連絡・相談を怠る」が56.5%となった。他、「香水やたばこ、体臭といったにおいが強い」も半数以上が選択していた。あいさつについて、ビジネスマナーとして重要な項目の最上位にきていたこともあり（P11参照）、来ていない場合は印象が悪くなりやすいようだ。また、新型コロナウイルス感染症が猛威を振るう現在、感染拡大対策として習慣になりつつあるマスクの着用や消毒の徹底がされていないと、相手を不安な気持ちにしやすいことが伺える。

仕事探しにおける新型コロナウイルスの影響の有無（P4参照）との関係を見ると、「マスクをしない、消毒をしない」「何度も消毒・検温を求められる」といった、感染症対策の習慣に関して大きな差はみられず、皆共通の関心事項のようだ。

男女別にみると、「香水やたばこ、体臭といったにおいが強い」では女性が男性よりも14.5pt高くなった。女性の方が、他人のにおいに敏感なようだ。

あなたが仕事をする中で不快な気持ちになるものはありますか？ 当てはまる選択肢をすべて選んでください。



イーアイデムから求人に応募した人に、ビジネスマナーに関する研修やセミナーの受講経験をきいた（複数回答）。全体では、何らかの研修を受けたことがあると答えた割合が71.4%となった。最も多かったのは「あいさつ」で51.1%、次いで「敬語・言葉づかい」の48.9%、「電話応対」の41.9%となった。「席次・席順」と「化粧の仕方、服装」については2割を下回った。

年代別にみると、「あいさつ」「姿勢、態度」「表情」については、特に「30代以下」で受けたことがある割合が高い。主に直接対面での第一印象に関わる内容については、30代以下の人々の方が受講経験が多いようだ。また、「接客応対」「名刺交換」「ビジネス文書」については、年代が上がるほど受けたことがある割合が高まる傾向がみられる。「電話応対」「名刺交換」「席次・席順」については、特に「60代以上」で受けたことがある割合が高い。取引先や上席者とのやり取りなどで求められる、よりビジネス場面に特化したスキルは、年齢が高くなるほど受講経験があるようだ。

あなたは今までに、ビジネスマナーとして次の内容を研修やセミナー、授業等で教わったことはありますか？（複数回答）

